



優しい風の吹く街



宝塚市議会は9月議会において「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を国に対して提出しました。地方自治体は医療・介護・子育て・教育・防災・事業者支援などの財政需要に対応することが厳しい状況になっているからです。

しかしこのような状況下だからこそ、医療や子育て・教育などのベーシックサービスの拡充と人材確保が必要不可欠です。今後もウィズコロナの社会を生き抜くために、知恵を出し合い、力を合わせて乗り越えていけるよう政策提言をしていきます。

議会報告

7/14 臨時議会

- 新型コロナウイルス感染症対応のための国の第2次補正予算と地方創生臨時交付金等を元にした14億8千万円の補正予算を可決した。

9/1-10/5 9月定例議会 主な議案

- 2020年度一般会計補正予算（修正可決）
- 2019年度市立病院事業会計決算（認定）
- 2019年度上下水道事業会計決算（認定）
- 宝塚市協働のまちづくり推進条例（可決）

- ダリアを市花にすることを求める請願（採択）
- 教育条件整備のための請願（採択）
- 気候危機に対して宝塚市の適切な対応を求める請願（採択）
- PCR検査等の拡充を求める意見書（可決）
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書（可決）
- コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書（可決）
- 人権擁護委員の候補者推薦（適任とする）

オンライン議会報告会

宝塚市議会では8月に予定していた議会報告会を新型コロナウイルス感染症対策として中止しました。その後、広報広聴委員会で「オンライン議会報告会」を企画し準備を進めています。市議会議員が議会活動について報告・質疑回答を行います。

▶日時：11月7日（土）10：30～

参加ご希望の方は事前に申し込みが必要です。申し込み方法については、広報などでお知らせします。ご覧ください。



▲ オンライン会議のイメージ図

ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚

<質問>

「多様性を尊重する安心社会」の実現をめざすなかで、LGBTs人権擁護の取組や、パートナーシップ制度実施の自治体は広がってきている。宝塚市がリーダーシップをとって制度の拡充や広域連携を検討してはどうか。

<市長>

本年6月現在、全国51府県市区町において、制度が導入されており、人口カバー率は26.4%。阪神間7市のほか、導入を検討している猪名川町や明石市に本市から呼びかけ、パートナーシップの相互認証や、サービスの相互適用などの連携も含めた情報共有の場づくりを行う予定である。

<質問>

宝塚市男女共同参画推進条例の改正で「差別の禁止」が明示され、各取組の法的根拠となった。学校の制服の選択制も子どもたちが自己決定権を持てると評価が大きい。さらに子どもの権利擁護やジェンダー平等のために、研修の拡充、教職員用リーフレットの改訂などが、必要ではないか。

<教育長>

教職員が多様な性のあり方に対する理解を深め、子どもや保護者の一番の理解者になるための研修を実施している。本年度、専門的な助言ができる人権教育指導員1名を新たに登録した。



今後教材について、統計上の数字や文言、絵本や図書などの見直しなど、リーフレット改訂版の作成を検討していく。

<質問>

例えば、宝塚市立病院に伊丹市のパートナーシップ宣誓カードを持ったカップルが受診された場合、家族として症状説明や手術同意などのインフォームド・コンセントの対象に含むのかどうか。

<病院経営統括部長>

宝塚市民、伊丹市民、書類があるなしにかかわらず本人の意思を尊重していく。

<質問>

市職員の休暇制度でもさらに進めていくべきだが。

<総務部長>

職員間の権利の平等の実現、民間事業者への波及も考え、市が率先して行う。

「夜間中学」について

<質問>

文部科学省は希望する中学校卒業者や不登校の学齢生徒の夜間中学での受け入れが可能とした。さらに「義務教育機会確保法」が成立し、全ての地方公共団体に、夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずることが義務づけられた。このように国が門戸を広げようとしているが、兵庫の公立夜間中学は神戸市と尼崎市の3校のみ。今後、既卒者の受け入れが多くなれば、他市の形式卒業生を受け入れない可能性がある。したがって、適切な行政間連携を行い、負担を分かち合うことが求められているが、現状はどうか。

<教育長>

県教育委員会と尼崎市が主催する「阪神7市1町夜間中学に関する連絡会議」を昨年3月から開催。現在、来年度から尼崎市立成良中学校琴城分校で他市在住者を受け入れできるよう、入学・就学に関する協定書や費用分担に関する覚書などについて具体的な協議を行っている。

小林地域の交通安全対策と歩道整備

<質問>

千種方面からの抜け道・市道226号線等は乗用車がかなりスピードをあげて通行している現状。マナーも悪く横断歩道でも停止しない車が多い。また、旧県道・逆瀬川仁川線や中野線においても常に車・バイク・自転車・歩行者が行き交い危険な状況が続いている。安心して歩くことができる街をつくるために抜本的な交通安全対策は。



<市長>

市道226号線については対策を要する箇所として把握している。道路標識や表示、違反の取り締まりは宝塚警察の管轄となるので対策の検討を依頼したい。

<質問>

小林駅や商店街周辺の歩道は、狭いうえに、舗装やタイルの剥がれなどで出来た段差がひどく、高齢者が転倒したり車椅子ユーザーやベビーカーが立ち往生したりしている危険な状況。早急な改善策が必要。

<市長>

破損箇所の修繕による歩行者の安全確保に努めるとともに将来的な歩道整備のあり方について検討していく。

2019年9月議会北野一般質問での提言が実現

●「産後ケア事業」の開始

助産師などの専門家が医療機関や対象者の自宅において心身のサポートや育児サポートを行う。

<訪問型→大門医院、宝塚市助産師会>

<訪問型&通所型→助産所ママズケア宝塚>

●「子ども家庭総合支援拠点」

2022年度中に新庁舎に設置

- ・子どもに関する相談
- ・発達に関する相談
- ・児童虐待に関する相談
- ・関係機関との調整等

●「ランランバス本格運行」

2018年の台風被害後から途絶えていた月見山・長寿が丘地域バスだが、9月30日(株)フクユによる本格運行が開始された。「ランランバスを守る会」住民の熱い思いが実った。



これからも市民の声を聴き、その願いを活かすボトムアップの社会を創っていくために頑張ります。

8/9 長崎原爆忌

黙祷のあと追悼と平和の鐘を鳴らす。
(末広中央公園)



9/20 ARTS CENTER
(文化芸術センター)

「宝塚の祝祭 I」

元永定正先生の作品など見応えがある作品満載。ナチュラルガーデンや芝生広場も素晴らしい。



9/20 新メンバーを迎え「立憲民主党兵庫県総支部連合会結成大会」が行われた。桜井周代表のもと、私は池田神戸市議、黒田県議とともに副代表を務める。私たちは「一人ひとりの命と暮らしを守り抜くこと」を、社会・経済・政治の基盤に据えて、コロナ禍を乗り越えるとともに、ポストコロナ・ウイズコロナにおける新しい標準(ニューノーマル)を創っていく。自己責任から支え合いへ。

風のココロ

「女はいくらでも嘘をつけますから」性暴力被害に関する予算を議題とする会議での杉田水脈議員の発言だ。「LGBTsは生産性がない」ほか、兵庫6区の衆議院議員時代に選挙カーから在日外国人へのヘイトスピーチを繰り返していた人。あらためて自らの人権感覚を見直す機会としたい。